

6月議会の主な議案の紹介

コロナ禍の長期化や国際情勢の不安定による昨今の物価高騰を踏まえ、子育て世代、生活困窮者、中小企業などの支援、また計画的な保全改修事業・財産の取得などの議案が上程されました。

①物価高騰による給食費を負担します。

子育て世帯の支援として、**給食の食材の物価高騰分を公費負担**します。(令和4年度内)

	1食当たりの食材料費(現在)		物価高騰への対応分
	保護者負担	公費負担	
こども園	210円	+10円	食材料費高騰分を負担(2.5%) (5.5円~7.4円)
小学校	250円	+15円	
中学校	280円	+15円	



②カーボンニュートラル創エネ促進補助金を増額。

物価高騰等による**エネルギーコストの増加を踏まえ、事業者のエネルギー自給率を上げる**ため予算を計上。

省エネ性能

対象:
設備費、工事費、調査費、設計費

補助額:
上限 3,000 万円
対象経費 1/2

③小中学校の校舎を改修します。

学校環境の改善および省エネルギー化を図るため、校舎の改修工事を行います。

今回の対象校
一木小学校
五ヶ丘東小学校
拳母小学校
広川台小学校
崇化館中学校

※令和4年度の工事で、**改修対象校(全84校)すべて完了**

④窓口におけるキャッシュレス決済の導入。

市役所窓口における**「支払い手続きのキャッシュレス決済」**を導入します。

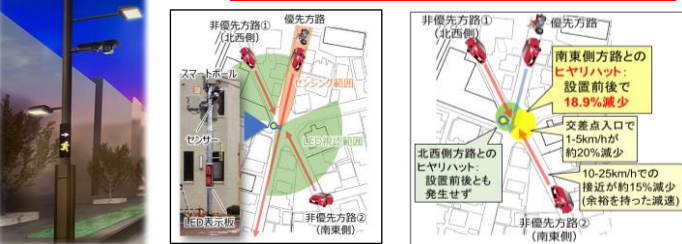
窓口	施設名	決済方式	導入時期
主要窓口	本庁市民課・駅西口SC	多様な決済手段に対応	令和4年10月
	支所・出張所		
公共施設	交流館5施設 ※旭日丘・上郷・崇化館・美里	多様な決済手段に対応 ※一部の施設で先行導入	令和4年11月
	地域文化広場・スカイホール豊田		
	東山体育センター・美術館		令和4年10月
その他	ものづくり創造拠点SENTAN	JPQR	令和4年 9月



官民連携による交通安全の取組「ジコゼロ大作戦」

①スマートポール実証実験

昭和町で実証を行ったスマートポールの改良型を再設置し、**スマートポールの効果検証を実施。**



※スマートポール:通信基地局を搭載した多機能ポール

②児童の登下校の見守り実証

小学生の**ランドセルに機器を取り付け、歩行の軌道や挙動を分析。**今後、見守りシステムとしての活用も目指す。

専用機器

・日々の登下校の様子が地図上に表示。

・学校や家に到着したか情報が保護者に報告される。(見守り)

※井上小学校にて実施(個人情報に十分配慮し検証)

③プローブデータ・各種データの活用

急ブレーキや一時不停止の多発箇所をデータにより、**危険の優先順位付けが可能なシステム開発に活用。**



※急ブレーキ発生箇所を地図上に表したデータ

④ドライブレコーダーによる高齢者安全運転診断

令和3年の実証を基に、AIによるデータ分析にて**高齢者 3,000 人**を目標に**実証実験を拡充。**

・運転の画像データを解析し、本人にフィードバック。

・事故の危険性のあるポイントを認識することで安全運転に導く。

6月議会の一般質問に登壇しました。

【質問テーマ】豊田市がめざすスマートシティ

今回の質問は、豊田市が進めているスマートシティの取組が先進的技術の導入が目的ではなく、**ウェルビーイング**（心身と社会的な健康を意味する概念）につながる手段として、技術をどう生かし、スマートな社会形成に取り組まれるのか。という視点で質問を行いました。



- ①スマートシティの位置づけとスマートシティ像
- ②重点分野の課題とこれまでの取組
- ③官民連携・市内のデータ活用
- ④スマートシティに向けたスマート自治体の姿
- ⑤情報取り扱いの課題
- ⑥データのインターフェース
- ⑦課題解決に向けた国への要望
- ⑧持続的発展に向けた事業コスト
- ⑨スマートシティに向けた市長の想い

質問① 多様な地域性を持つ豊田市のめざすスマートシティ像とは、どのようなものか？



答弁:50年先を見据え、ビジョンを設定。
本市の強みを生かしながら AI/IoT 等を活用し、豊かな暮らしの実現を図る。

質問④ スマートシティをめざす上で、スマート自治体としての本市のめざす姿とは？



答弁:デジタル3原則を重視し「行かない、書かない、待たない」スマート自治体の実現を位置づけてデジタル化を進めていく。

質問⑤ サイバー攻撃や不正アクセスなど、プライバシー侵害に備えた情報セキュリティは？



答弁:個人情報保護法を始め関連する条例やルールを今後も遵守。セキュリティ対策のガイドラインに沿って対策を行う。

質問⑥ 民間や行政のデータを横断的につなぐインターフェース(仲介)の取組は？



答弁:現在は、まだ一部であるが、今後データ連携の需要が見えた段階で必要な基盤整備を始め、導入を判断していく。

質問⑦ 課題解決のために障壁となる規制緩和を地方から国へ提言し緩和検討への取組みは？



答弁:必要な規制緩和に向け実証を展開。今後も、緩和に伴う内容を精査した上で、企業と連携し国への働きかけを行っていく。

質問⑧ 持続的な取組み推進のため、事業コストの捻出をどのように考えるのか？



答弁:導入費用を上回る歳出削減効果の創出や維持管理コスト低減など、様々な選択肢を検討していく必要がある。

質問⑨ 人の幸福を実現する課題解決の手段として、スマートシティへの取組みが必要であるが、**太田市長が描かれるスマートシティの姿**と実現に向けた想いは？



市長答弁: 行き過ぎた利便性が人の心や活力を奪うという議論のなか、**先進技術を追い求めるのではなく**、様々なつながりによる**豊かな暮らしの実現が重要**と考える。生涯を通じて、自分らしく幸福を感じ続けることができる暮らしを実現できる社会、すなわち**幸福寿命を全うできる社会である**と考えている。

明治用水頭首工の漏水対応報告

早期の復旧に向け対策が進められています。

矢作川から農工業用水を取水している「明治用水頭首工」の大規模な漏水により、用水利用者に多大な影響を及ぼしています。豊田市としても、国に対し原因の追究と適切な恒久対策、ならびに利用者への救済を求める意見書を提出しました。今後も国・県を中心に対応が進められます。

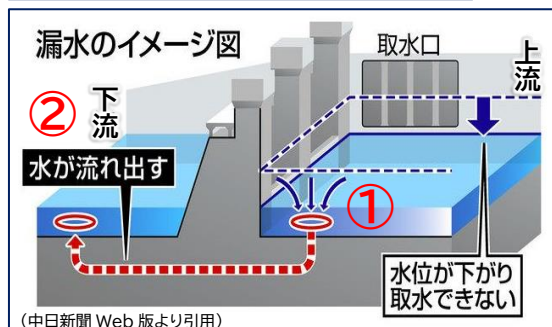


経緯

5月15日(日) **漏水を確認**
 5月16日(月) 碎石を投入し、閉塞を試みたが **状況に変化なし。**
 5月17日(火) 漏水範囲が拡大、取水量が大幅に減少し **取水出来ない状況** となる。

管理

管理者: 東海農政局 (国営)
 管理委託先: 明治用水土地改良区
影響
 受益自治体: 豊田市始め13市町
 受益面積: 268.5ha
 受益事業所: 131事業所



■豊田市の対応

- ・市管理河川の活用等の協力。
- ・道路使用等関連事務支援。

■緊急申し入れ

- ・速やかな復旧対応と抜本的な対策を要請。
- ・適時、適切な情報提供。
- ・用水利用者に寄り添った救済。
- ・農業者への全額補償など。

■受給者へのお見舞い

- ・心配や大変な思いをされている農家にお見舞い金を支給。



※対策状況が刻々と変化しています。
 国・県・市の情報を QR コードからご確認ください。

令和4年度 新体制スタート



令和4年度 会派人事

市民フォーラム (※トヨタ系議員)
 代 表 : 中村孝浩 幹 事 長 : 日當浩介
 政審会長 : 塩谷雅樹



令和4年度 議会人事

議長: 板垣清志 (自民クラブ) / 副議長: 小島政直 (公明党)
 日當浩介 : 地域生活委員会 委員長
 議会運営委員会 委員

令和4年5月臨時議会が行われ、市議会新体制となりました。
 豊田市議会、また会派においても重要なポストを拝命致しました。
 責務を果たしていけるよう、しっかり勉強し取り組んでいきます。

